

2024

9/3
(火)

ちよだカフェ・第3回

「ウォーカブルな都市のデザインとは —神田警察通りの事例から考える—」

予約不要／参加無料



開始：18:00 ～

会場：神保町区民館 3階 和洋室

千代田区神田神保町 2丁目 40

講師：ホルヘ・アルマザンさん



プロフィール／スペイン登録建築家。慶應義塾大学准教授。1977年生まれ。マドリード工科大学修士課程修了。東京工業大学博士課程修了、博士（工学）。2009年より慶應義塾大学にて教鞭をとる。2011年から建築設計研究室「Studiolab」を主宰。ホルヘ・アルマザン・アーキテツク代表。近著に『東京の創発的アーバニズム』（学芸出版社、2022年10月）がある。

ウォーカブルな（歩きやすい）まちに住むと 人と人とのコミュニケーションが活発になり 健康で幸せになりやすい——



そんな研究報告を元に、日本でも国土交通省は2019年から「ウォーカブル推進都市」を随時募集しています。2024年6月末までに、都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域（＝ウォーカブル区域）を設定した市区町村は118都市あり、**実は千代田区もそのひとつ！**でも、**本当に千代田区は「ウォーカブル」なまちになっているのでしょうか？**

スペイン出身の建築家・慶応大学准教授のホルヘ・アルマザンさんに、ウォーカブル都市の先駆けであるバルセロナの実践などを参考に、**高齢者が座り、憩い、子どもたちが遊ぶ、そんな人中心の豊かなまちづくり**について具体的なイメージをご提案いただきます。**神田警察通り**を例に、アルマザン先生の提案を囲んで、みんなで話し合ってみませんか？



久道瑛未弁護士



大城聡弁護士

「ちよだカフェ」には、千代田区のことをよく知る弁護士が毎回参加していただきます。お2人は、常に住民の側に立って問題解決のために奔走する弁護士です。

私たちが目指す千代田

- 1、歴史・教育・文化を大切にす“まち”
- 2、いつまでも住みたい、そして住み続けられる“まち”
- 3、一人ひとりが尊重され、区民の声が届く“まち”



代表 堀義人



千声会 HP

生活の質・住環境を更に良くするために、あなたの声を聞かせてください。

千代田区民の声を届ける会 事務局 sensei_info@ml.globis.co.jp